

日本語表現法に関するご案内（1年生）

1. 履修が推奨される基準

「日本語表現法Ⅰ～Ⅲ」は、入試の「作文」に基づいて選出された学生が優先的に履修できる自由選択科目となっています。1年次は後期に「日本語表現法Ⅰ」を履修します。履修が推奨される基準は以下の通りです。

- ① 入試の「作文」で1か所以上の誤字・脱字があった学生
- ② 入試の「作文」で、段落を分けていなかった学生
- ③ 入試の「作文」の原稿用紙の使い方に誤りがあった学生

2. 履修するメリット

上記のような、誤脱字を避けること、効果的に段落を分けること、原稿用紙を正しく使うことといった技術を習得する以外にも、以下のようなメリットがあります。

- I) 高年次の専門科目、卒業研究に必要となるレポート（論文）の作成法を1年次に習得しておくことができる。また、PCでの文書作成の基礎が身につく。
 - II) 文章の読解、作成を体系的に習得することができる
 - III) 就職活動やインターンシップ参加に必要なエントリーシート、小論文、文書（お礼状、メール等）の作成法を2年次に習得しておくことができる
- 全) 「言語・異文化理解科目」必修5単位のうち、3単位分の授業を抽選なしに履修できる

3. 履修登録について

履修が推奨される学生は、UNIPA 時間割に「日本語表現法Ⅰ」が自動的に表示されます。指定されたクラスでの受講が原則ですが、授業の重複等によりコマ変更を希望する学生は、履修要領一覧を確認の上、以下の「クラス変更申請フォーム」から変更を申請してください。

UNIPA に登録がない人もクラス変更と同様にフォームから履修を申請できますが、定員に余裕がある場合のみの抽選となります。

クラス変更申請フォーム

<https://forms.gle/MYg3bhpZ551UjgFM7>



その他、質問があれば、二宮（スポーツ学部）までメールで問い合わせてください。

二宮（スポーツ学部） ninomiya@kyukyo-u.ac.jp